

	A案（あかつき園南棟を当面残して活用）	B案（旧ショート棟を活用）	C案（仮設を新設）	D案（WC 中部を活用）
最終形配置図				
工事中配置図				
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新あかつき園を敷地北西に配置 ①仮設を作り製袋仮倉庫とする 法人所有の旧ショート棟を撤去 ②現あかつき園北棟を先に撤去して新施設を整備 ③新施設完成後に現あかつき園南棟を撤去して、敷地南側に民間ショート+@を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新あかつき園を敷地南側に配置 ①仮設の事務所を作る 旧ショート棟を就B仮作業所に改修 ②現あかつき園全体を撤去して新施設を整備 ③旧ショート棟付近で民間ショート+@を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新あかつき園を敷地南側に配置 ①仮設を作り就B仮作業所とする ②現あかつき園全体を撤去して新施設を整備 ③旧ショート棟付近で民間ショート+@を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・新あかつき園を敷地南側に配置 ①WC 中部(R7.7 開所後)に利用者が移動 ②現あかつき園全体を撤去して新施設を整備 ③旧ショート棟付近で民間ショート+@を整備
利用者の環境変化	◎現利用者は、工事期間中も現在の場所で活動できるため、環境変化にかかる負担が最も少ない。 (移動は、新施設整備後の1回のみ)	△現利用者は、敷地内で活動場所が2回変わるため、環境の変化にかかる負担が比較的大きい。 (工事前と新施設整備後の2回移動)	△現利用者は、敷地内で活動場所が2回変わるため、環境の変化にかかる負担が比較的大きい。 (工事前と新施設整備後の2回移動)	▲現利用者は、まったく異なる場所(WC 中部～新あかつき園)間で活動場所が2回変わるため、環境の変化にかかる負担が最も大きい。 (工事前と新施設整備後の2回移動)